



東洋医学公益講座

第54回

- ✓ 講師：羅 予澤
- ✓ 提供：未病予防協会
- ✓ 協賛：(株)ベンチャーバンク

先人の智慧、後世の階段

十二正経 肺経_概要



復習：肺の役割

肺(皮膚を含む) = 【天幕】

地球を取り巻く大気層のような存在

- ✓ 外からの邪気（冷熱など）体を守る
- ✓ 体温を一定のレベルに保つ（保温）
- ✓ 体内の水分の蒸発を防ぐ（保湿）

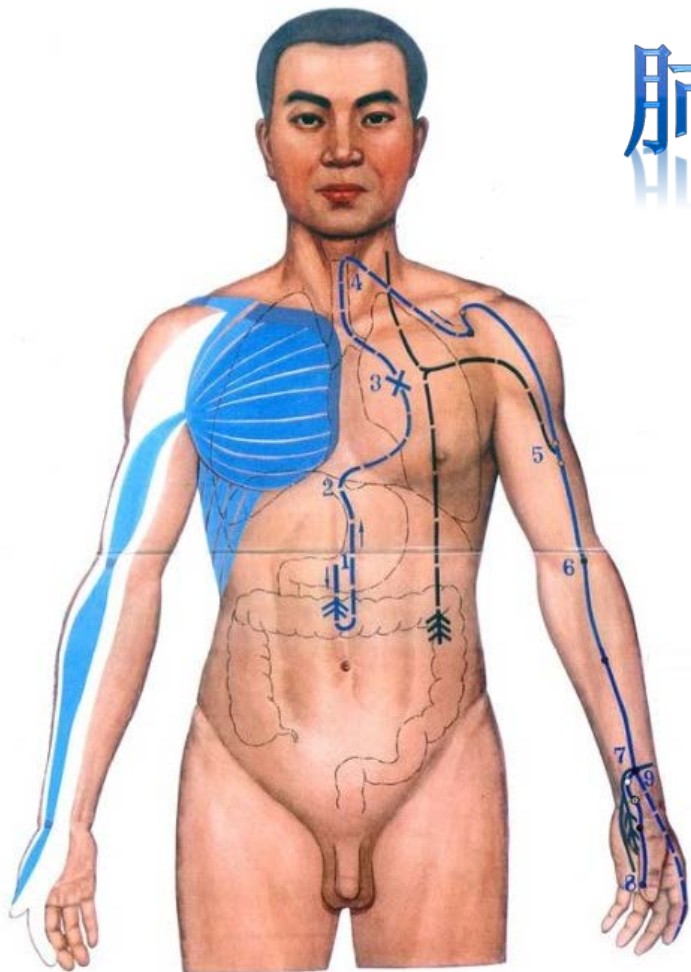
※当講座 第20回、30回の内容

肺の経脈は中焦から

胃や脾（消化器系）
から始まる

- ✓ 下へ大腸と絡む
- ✓ 上へ肺→喉→肩→腕の
前の内側→親指

※水色の線は経脈のイメージ図



地球上の水の循環

金（↓）の下げる力が不可欠



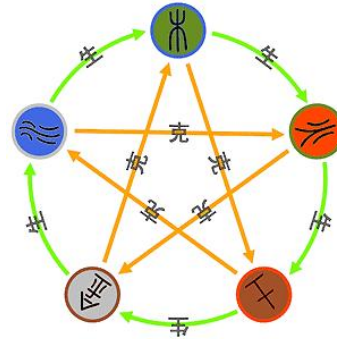
中焦からスタートする理由

胃腸で消化した栄養素が
精(細かい粒子の状態)になる

精が肺のシステムを通して、
消化器系から全身に行き渡る

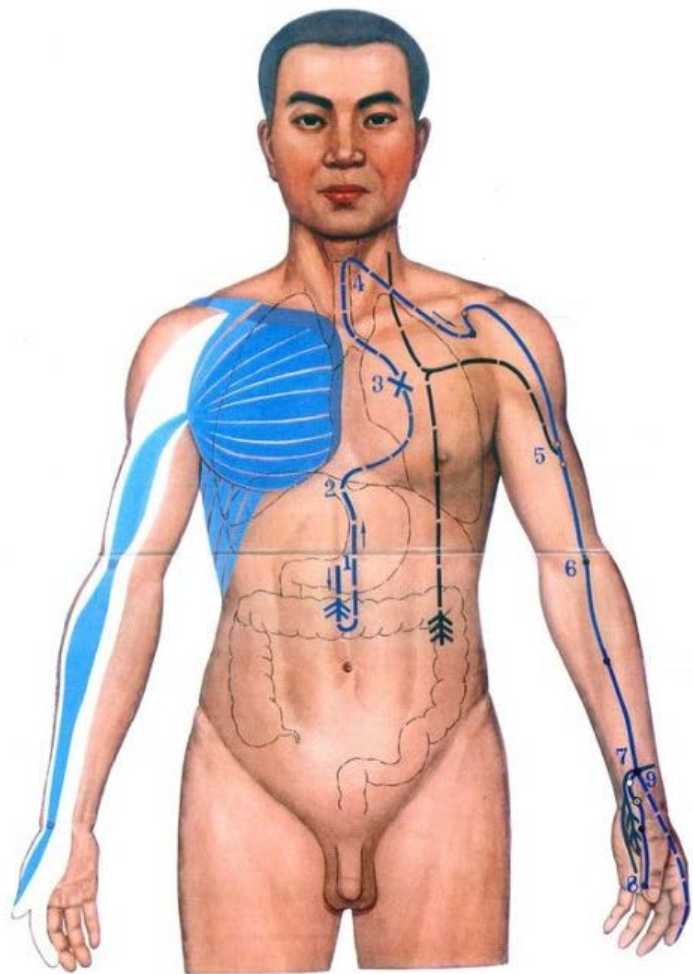
太陰湿金肺の意味

三陰三陽 太陰（四の気＝大暑から白露）
六気 湿（高温多湿・多雨の季節）
五行 金
五行生剋 土生金



太陰湿土の脾から太陰湿金の肺へ

肺経の経別



他の臓腑との連携を強化
胆経の淵液（脇下の肋骨あたり）から大腸経と絡み
→鎖骨の上→喉→大腸経
と合流→肩→経脈と合流

※紺色の線は経別のイメージ図

肺経の経筋

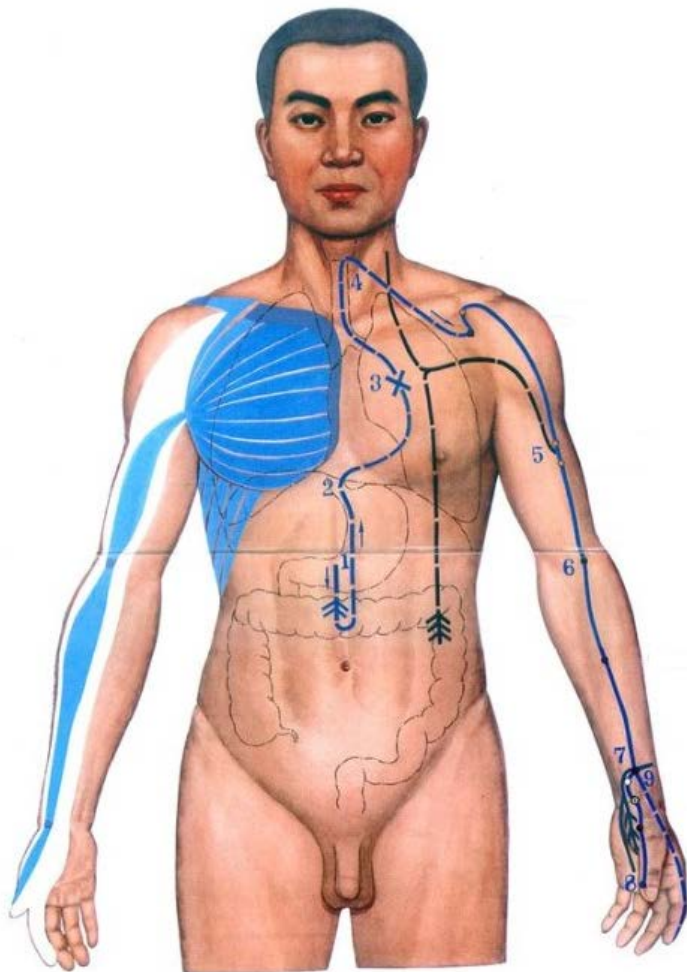
肺経を囲む筋肉群

親指→手首→

前腕の前内側→肘→

上腕の前内側→胸→脇

※水色の範囲は経筋のイメージ図



脇の下の痛み 事例

事例

義理の父

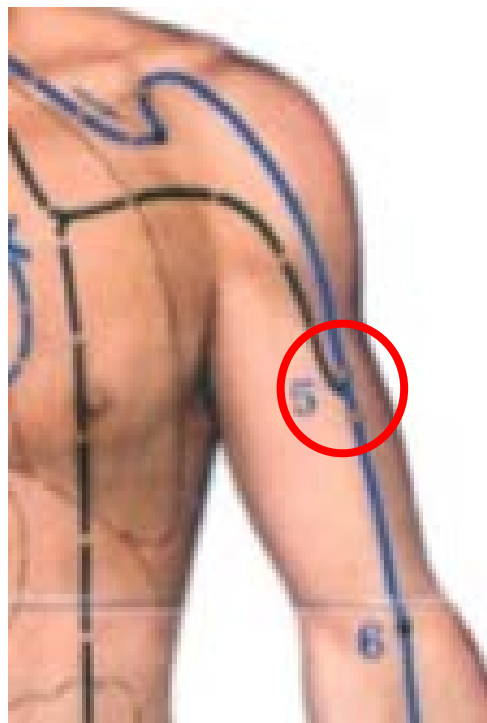


枇杷を収穫した時に
脇の部分が痛んだ

痛む部分は肺経の経別と
経筋が通っている脇下

俠白・天府（肺経のツボ）を
1～2分解すと痛み解消

侠白と天府を使う理由



肺経の経脈と経別が
合流している箇所

肺経の皮部

肺経が通る皮膚

この部分の皮膚に
痒み・プツプツは
肺経と関係する

※白色の範囲は皮部のイメージ図

